

Cisco Unified Communications Managerのクロスサイトスクリプティングの脆弱性

Medium	アドバイザリーID : cisco-sa-cucm-selfcare-drASc7sr	CVE-2020-3346
m	初公開日 : 2020-08-05 16:00	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 6.1	
	回避策 : No workarounds available	
	Cisco バグ ID : CSCvt01170	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Unified Communications Manager(Unified CM)およびCisco Unified Communications Manager Session Management Edition(Unified CM SME)のWeb UIの脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者がインターフェイスのユーザに対してクロスサイトスクリプティング(XSS)攻撃を行う可能性があります。

この脆弱性は、Web UIがユーザ指定の入力を正しく検証しないために存在します。攻撃者は、インターフェイスのユーザに細工されたリンクをクリックするように誘導することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は影響を受けるインターフェイスのコンテキストで任意のスクリプトコードを実行したり、機密ブラウザベースの情報にアクセスしたりする可能性があります。

この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-cucm-selfcare-drASc7sr>

該当製品

脆弱性のある製品

公開時点で、この脆弱性はCisco Unified CMおよびCisco Unified CM SMEの次のリリースに影響を与えています。

- 10.5(2)、すべてのリリース
- 11.5(1)、すべてのリリース
- 12.0(1)、すべてのリリース
- 12.5(1)、すべてのリリース

最も完全で最新の情報については、このアドバイザリの上部にあるBug IDの「詳細」セクションを参照してください。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクション](#)にリストされている製品だけがこの脆弱性の影響を受けることが知られています。

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[Cisco Security Advisories and Alerts ページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、[侵害を受ける可能性と完全なアップグレードソリューションを確認してください。](#)

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成は新規リリースでも継続して適切なサポートが受けられることを確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンス プロバイダーにお問い合わせください。

修正済みリリース

修正済みソフトウェアリリースの詳細については、このアドバイザリの上部にあるBug IDの「詳細」セクションを参照してください。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

出典

この脆弱性を報告していただいたChris WhippとATO VMRチームに感謝いたします。

また、この脆弱性を報告していただいたLuzerner MedarieのDavid Rutishah氏に感謝いたします。

URL

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-cucm-selfcare-drASc7sr>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	Date
1.0	初回公開リリース	—	最終版	2020年8月5日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。